



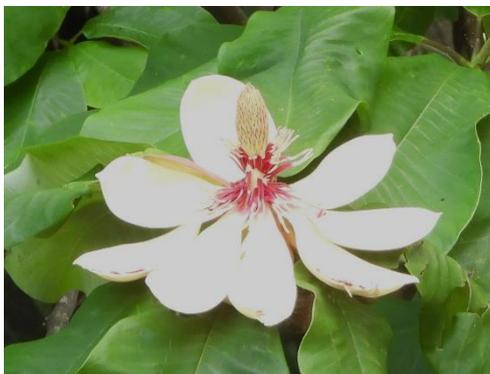
愛川ふれあいの村 今月の風景

2021年5月 自然のたより

国語の教材に『モチモチの木』と言う子どもたちにとって興味あるお話があります。モチモチの木とはトチノキのことで、野草園の傍で上向きに円錐状の花を咲かせています。近くにトチノキとホオノキの実生がありますが、今は小さいので上から見る事が出来、2種類の違いがよくわかります。トチノキの高い枝には、キビタキ、シジュウカラ、エナガ、ヤマガラなどが集まりとても人気の樹木です。愛鳥週間のある5月、木々の間から聞こえる野鳥の声に耳を傾け、ふれあいの村の散策を是非楽しんでください。(吉田)



トチノキ



ホオノキ



クロツグミ



シジュウカラ



キビタキ



キセキレイ



コサメビタキ



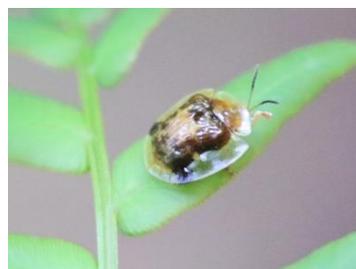
ウスバアゲハ



クロスジギンヤンマ



サカハチチョウ



イチモンジカメノコハムシ



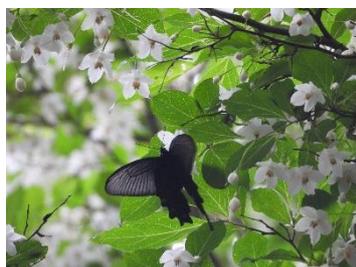
ラミーカミキリ



サイハイラン



アカタテハの幼虫



エゴノキとジャコウアゲハ

トピックス ★生き物の工夫★

なかなか収まらない感染症の脅威。わんちゃんにも感染するとの情報を聞いたことがあるような気がします。しかし、生き物の世界では、感染症を恐れての行動はとれません。

ふとどこかで見かけた光景を思い出しました。小さなタカが巣作りの真っ最中。オスもメスもせっせと枝を運んでいます。運よく枝をどこから持ってきているのかを見ることができました。落ちている枝は使わずに、木から折って運んでいます。他の鳥ならくちばしで運ぶところを器用に足でもって落とさないように運んでいました。地面に落ちた枝は腐りやすく、清潔ではないことを知っているようですね。

さらに巣の大枠は樹種を選ばず（もしかしたらこだわりはあるかもしれませんが）、体に触れるところはスギの枝を敷いています。これはどう言う意味だと思いませんか？なんとスギには抗菌作用があるのです。このことを知っているとしたら賢いですね。タカも感染症対策をとっているのですかね。そうでなくても清潔な環境で子育てをしたいものです。

野生の木や草には様々な効果があります。それを利用して賢い生き物たち。そんな姿を見ながら感染症が終息することを祈ります。（石川）



生き物 ★聞きなし★

野鳥たちは今、繁殖期を迎え雄は縄張り宣言をしたり、恋人募集のため大きい声で囀っています。そんな鳥の声を聞きなしで覚える方法があります。聞きなしとは動物、主に鳥の声を人の言葉に当てはめて聞くことです。ウグイスの「法、法華経」は誰でも知っていますね。ここで突然ですが、鳥クイズ〜っ！さて、左側の鳥の聞きなしは右側のどれでしょうか？線で結びましょう。

- | | |
|------------|----------------|
| 1 センダイムシクイ | ○特許許可局 |
| 2 ホオジロ | ○ちょっと来い、ちょっと来い |
| 3 ホトトギス | ○土喰って虫喰って渋〜い |
| 4 コジユケイ | ○一筆啓上仕り候 |
| 5 ツバメ | ○焼酎一杯グイーっ |
- *SNS等で鳥の声を検索してみましょう。
(高梨)



旬 ★独活★

『独活』なんと読むかわかりますか？難しいですよ。『うど』と読みます。山菜の一種です。『独活』の漢字の由来については、いくつかありますが、「風もないのに独りで動いて見える」ということから『独活』と表されるようになったとのことです。

『独活』は、だいたい30cmくらいの長さで、苦みと香に特徴があります。穂先は、てんぷら。茎は、酢味噌和え等で、シャキッとした歯ごたえがありとても美味しいです。トゲトゲした皮をきんぴらみたくにして頂くと、美味しいです。（菅原）



来月の見どころ

環境月間の取り組み

今年も梅雨入りが早そうだと新聞報道で知った。九州、四国、中国地方で梅雨入りがあり、五月十六日に近畿、東海地方も梅雨入りしたと気象庁の発表があった。そのニュースの中で大雨の注意が呼びかけられていた。五十年に一度、百年に一度の大雨注意報もよく聞く言葉になってしまった。

六月五日は『国連人間環境会議』を記念した世界環境デー、環境の保全についての関心と理解を深め保全活動を行う意欲を高める目的で日本では、「環境の日」と定めている。

地球温暖化防止対策は、神奈川県の大きな目標として掲げられ様々な取り組みがなされている。ゴミ減量・リサイクル・自然環境保護（里山の保全・森林の保護）など日常的な取り組みが大切だ。ふと見かける小さな野鳥が安心して過ごせる環境は、私たちに良い環境と言える。環境月間を私たちの住む地球環境について優しく接するための何かを考えるきっかけにしたいと思う。（吉田）

